

松江市 報道提供資料

令和4年3月18日

(件名) 令和3年松江市観光入込客数及び宿泊客数(国内・外国)の集計結果について(速報)

(内容) 令和3年における松江市内の観光入込客延べ数及び宿泊客延べ数について、調査・集計を行っておりましたが、この度、集計結果がまとまりましたので速報値としてお知らせします。

《調査期間：令和3年1月1日～令和3年12月31日》

全体【観光入込客延べ数】 5,022,796人(対前年比93.4%)

【宿泊客延べ数】 1,132,399人(対前年比98.2%)

外国人【観光入込客延べ数】 5,594人(対前年比54.7%)

【宿泊客延べ数】 1,047人(対前年比13.0%)

《主な観光施設の入込客数》

施設名	入込客数 (人)	対前年比 (%)	施設名	入込客数 (人)	対前年比 (%)
国宝松江城	172,076	82.0	玉作湯神社	46,428	65.0
堀川遊覧船	96,967	95.5	美保神社	515,900	109.9
松江歴史館	70,166	80.6	由志園	147,321	98.6
八重垣神社	153,138	66.4	美保関灯台	359,170	112.5
松江フォーゲルパーク	136,953	136.0	加賀の潜戸	7,690	42.5

《変動要因》

- 観光入込客数は、コロナ禍前の令和元年の52%減の約502万人で、令和2年と比較しても7%の減であった。回復基調が見られる時期もあったものの、度重なる感染拡大の影響により多くの催しを中止せざるを得ない状況が続いたこともあり、年間を通してマイナス基調となった。
- 宿泊客数は、入込客数と同様の影響から、令和2年とほぼ同じ数値の約113万人で、令和元年の46%減となった。年間を通して低調ではあったが、タイミングを見極めながら宿泊割引キャンペーンや情報発信を展開し、一時的に回復傾向も見られた。
- 外国人宿泊客数については、令和3年も観光目的での外国人の入国規制が継続されており、年間の外国人宿泊客数は令和元年の99%減の1,047人、令和2年からも87%減と大きく落ち込んだ。
- 主な観光施設では、松江城登閣者数が対前年比82.0%となるなど、ほとんどの施設が前年よりもさらに落ち込む結果となった。一方、松江フォーゲルパーク、美保神社、美保関灯台などは前年に続き増となり、密になりにくい屋外の観光施設の需要が高まった結果となった。

【問い合わせ】観光文化課 担当：景山 電話：0852-55-5214

国際観光課 担当：森山